

# 日医ニュース

2023. 6. 5 No. 1481

発行所 **日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



トピックス

- 長島常任理事 参考人 質疑に出席 …… 2面
- 健康スポーツ医と運動指導者の多職種連携 推進講演会 …… 4面
- 春の叙勲・褒章受章者 …… 6面

## 三師会合同記者会見

# 医科・歯科・調剤分野における 物価高騰対策等への財政措置を要望

松本会長はまず、4月28日に日本医師会が自由民主党政務調査会に対して、四病院団体協議会、全国医学部長病院長会議と連名で、医療分野における物価・賃金高騰対策に関する要望書を提出したことを報告した。

その上で合同声明の趣旨については、現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻等の影響による世界的なエネルギー価格並びに、人件費の上昇を始めとする急激な価格高騰の状況にあるにもかかわらず、公定価格により運営する医科歯科医療機関、薬局、介護施設等

は、価格に転嫁することができないため、物価高騰と賃上げに対応するには十分な原資が必要であることを説明。更に、インフレ率を超える賃上げの実現という政府の方針に沿うためには、労働力人口の約12% (約800万人) を占める医療・介護従事者の賃上げも喫緊の課題であるが、診療報酬・介護報酬という公定価格で運営を行っている医科歯科医療機関、薬局、介護施設等においては、昨今の物価高騰も相まって賃上げに対応できない状況となっていることを強調。政府

に対しては、令和5年度における緊急的な措置や、令和6年度のトリプル改定で物価高騰と賃上げへの対応を「骨太の方針」に記載するなどの財政措置を、強く求めたいとした。

堀田会長は、「個人立の小規模な診療所が75%を占める歯科において、昨今の物価高騰の影響は大きい」と述べ、令和4年4〜6月の内部調査においても水道光熱費が前年度に比べ11・6%増加していたことを報告。加えてコロナ禍以降、歯科材料費や消耗品費など総支出も増えたとし、

新型コロナウイルス感染症の類型の変更に伴い感染防止対策を緩和できるわけではないことを指摘した。

山本日薬会長は、「新型コロナウイルス感染症の影響を受け、日本薬剤師会の調査では95%に及ぶ薬局が厳しい経営状況を余儀なくされている」と主張。また、調剤報酬の75%を占める薬価が毎年改定されていることから、資産価値の減少も加わり、公定価格の下で運営している薬局における物価や賃金の高騰の影響は甚大で、薬局経営が危機的な

状況であることを訴え、本声明への理解を求めた。その後の記者との質疑の中で、医師の賃上げについて問われた松本会長は、「医師の人件費のみ引き上げれば良いという問題ではなく、医療従事者全体の課題である」との認識を示し、令和5年度に関しては補助金・助成金での対応が、令和6年度に関しては診療報酬改定における根本的な対策がなされるよう、今後の議論に臨んでいくとした。



松本吉郎会長は5月10日、堀憲郎日本歯科医師会長、山本信夫日本薬剤師会長と共に日本医師会館で記者会見を行い、医科・歯科・調剤分野における物価高騰対策や、医療・介護従事者の賃上げのため、更なる政府の財政措置を要望する合同声明を三師会で取りまとめたことを公表した。

## 医科・歯科・調剤分野における 物価・賃金高騰対策に関する三師会合同声明

令和5年5月10日

政府におかれましては、今般、「第8回物価・賃金・生活総合対策本部」において、物価高騰に対する追加策として、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」の積み増しをお示し頂き、更に価格高騰への対応に効果的と考えられる推奨事業メニューとして、引き続き「医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援」を推奨頂きましたことを併せて御礼申し上げます。

現在、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻等による世界的なエネルギー価格の高騰や、それと相まって人件費の上昇をはじめとする急激な価格高騰の状況にあります。しかしながら、公定価格により運営する医科歯科医療機関、薬局、介護施設等は、価格に転嫁することができず、物価高騰と賃上げへの対応には十分な原資が必要です。

岸田総理から本年1月4日の年頭記者会見、1月24日に開催されました「第6回物価・賃金・生活総合対策本部」において、春闘では「インフレ率を超える賃上げの実現をお願いしたい」等のご発言がありました。

全国における医療・介護従事者は、労働力人口6,900万人の約12%に当たる、約800万人おります。今般の政府の方針に沿うためには、喫緊に医療・介護従事者の賃上げを実現することが重要です。

一方、多くの介護施設においても、コロナ禍および物価高騰の影響によって経営上の収支が悪化し、更に元々不足している介護従事者が、比較的賃金の高い他産業へ流出してしまうことが増えており、これらにより施設の維持に支障、困難を来す状況となっております。

診療報酬・介護報酬という公定価格で運営を行っている医科歯科医療機関、薬局、介護施設等においては、昨今の物価高騰も相まって、岸田総理がご発言された賃上げに対応できない状況となっております。

つきましては、これら医科歯科医療機関、薬局、介護施設等を取り巻く事情をご賢察頂きまして、医療・介護従事者の賃上げに対応するため、令和5年度における緊急的な措置や、令和6年度のトリプル改定で物価高騰と賃上げへの対応を「骨太の方針」に記載するなど、政府において何らかの財政措置を強くお願いいたします。

公益社団法人 日本医師会 会長 松本 吉郎  
公益社団法人 日本歯科医師会 会長 堀 憲郎  
公益社団法人 日本薬剤師会 会長 山本 信夫

### 国民医療推進協議会総会を開催へ

物価高騰の影響に関し、自民党内でも問題視され、同党の社会保障制度調査会(会長・田村憲久衆議院議員)は調査会としての提言「医療・介護・障害福祉分野にお

ける物価高騰・賃金上昇への対応について」を取りまとめ、5月11日に萩生田光一政務調査会長に提出した。

提言の中では、(1)令和6年度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬改定について、大幅な引き上げを行

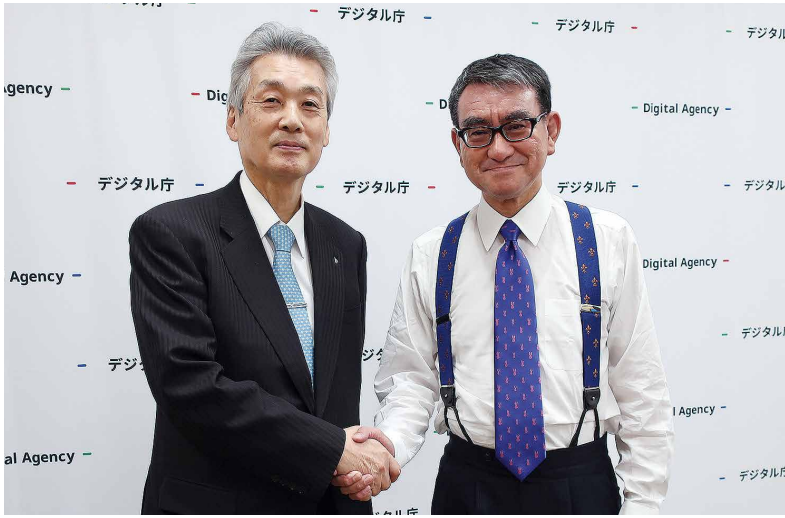
うこと。その上で、今後とも予想される物価高騰・賃金上昇の局面において、従来の2〜3年の改定サイクルにとらわれず、弾力的・機動的な改定を行うこと。また、薬価改定についても、既述の課題の解消に向けた十分な対応を行う。(2)来年度以降の社会保障関係費の伸びについては、高齢化の伸びとは別に、物価高騰・賃金上昇への対応が行われるようにする。(3)更に、物価高騰・賃金上昇に対する政府の全体的な取り組みの中で、医療・介護・障害福祉分野に対して本年度に

号で詳報予定)。

松本会長

河野デジタル大臣と

医療DXなどで意見交換



松本吉郎会長は4月24日、デジタル庁を訪れ、河野太郎デジタル大臣と会談を行った。

会談では、まず、河野大臣が初代の新型コロナウイルスワクチン接種推進担当大臣を務めていた（2021年1月から同年10月）ことから、新型コロナウイルスワクチン接種に対する日本医師会のこれまでの協力に関して、改めて謝意を表明。これに対して、松本会長は「現状の感染状況は落ち着いてきてはいるものの、ワクチン接種を含む新型コロナウイルス感染症対策はこれからも必要

日本医師会

トルコ・シリア地震への医療支援を目的としてトルコ医師会に1億5600万円余りを寄附

日本医師会では、5月9日に開催された令和5年度第4回常任理事会において、トルコ・シリア地震への医療支援を目的として、トルコ医師会に対して1億5600万3200円を寄附することを決定した。

日本医師会では、本年2月6日にシリア国境に近いトルコ南東部でマグニチュード7.8の地震が発生したことを受けて、医療チームを派遣し、被災者への緊急支援活動を行っているAMDAに対して500万円の支援

長島常任理事

衆議院「地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会」の参考人質疑に出席



冒頭、同常任理事は、マイナンバーカードと健康保険証を一体化した「マイナ保険証」を活用したオンライン資格確認システムについて、「今後の医療DXの基盤となる仕組みであり、日本医師会としてぜひとも推進すべきと考えている」と強調。その理由として、「医療を取り巻く状況が大きく変化していることを挙げ、その内容を、

長島公之常任理事は4月20日、衆議院「地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会」に参考人として招かれ、審議中の「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律案」（以下、法案）について、日本医師会の考えを説明した。

冒頭、同常任理事は、マイナンバーカードと健康保険証を一体化した「マイナ保険証」を活用したオンライン資格確認システムについて、「今後の医療DXの基盤となる仕組みであり、日本医師会としてぜひとも推進すべきと考えている」と強調。その理由として、「医療を取り巻く状況が大きく変化していることを挙げ、その内容を、

第31回日本医学会総会 オンデマンド配信のお知らせ

Advertisement for the 31st Japanese Society of Internal Medicine General Meeting. It includes the text: 'This year's meeting in Tokyo was held on April 25, and the on-demand streaming service is available on the homepage from May 25. Please use it.' It features a QR code and the logo of the Japanese Society of Internal Medicine.

# 世界医師会 (WMA) ナイロビ理事会 「スーダンでの即時かつ効果的な停戦と ヘルスケアの保護を求めるWMA理事会決議」等 を採択

世界医師会 (WMA) ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

ナイロビ理事会が、4月20日から22日を会期として対面形式でケニアにて開催され、日本医師会から、WMA理事として角田徹副会長 (WMA理事会副議長)、今村英仁常任理事、原祐一曰医総研副所長 (松本吉郎会長代理)、ジュニアドクターズネットワークから岡本真希医師が出席した。全体の参加者は、約40加盟

医師会及び国際機関等から約200名であった。理事会上先立ち、19日には角田副会長がWMA理事会副議長として財務担当グループ及びWMA役員会に、今村常任理事がヘルシンキ宣言改訂作業部会にそれぞれ出席した。

理事会では冒頭、本年4月から2年間を任期とする役員を選出が行われ、理事会議長に韓国医師会のジョン・ユル・パク副会長、財務担当役員にドイツ医師会のルドルフ・ヘンケ理事がそれぞれ新たに選出された。理事会副議長には、角田副会長が再選された。

また、オトマー・クロイバー事務総長より、日本医師会によるウクライナ医療支援金2億1300万円の追加送金 (本紙第1478号既報) が報告され、議場から感謝の意が示された。

議事では、緊急案件として、「スーダンでの即時かつ効果的な停戦とヘルスケアの保護を求めるWMA理事会決議」等が採択され、プレスリリースされた。

理事会における主な審議結果は下記のとおりである。

「スーダンでの即時かつ効果的な停戦とヘルスケアの保護を求めるWMA理事会決議」

「ウガンダにおける反LGBTQ法に関するWMA理事會決議」

「ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

「ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同



JMA President Kichiro Matsumoto handing Prof. Eidelman the check announcing that JMA will send 213 million yen to the Ukraine Medical Help Fund as a further donation from JMA.



WMA Twitter



ケニア医師会サイモン・キゴンドゥ会長他役員と

法案及び類似の法律を非難することを呼び掛けている。

「欧州人権裁判所 (ECtHR) 規則第39条の差し止め暫定措置を無視する移民の扱いについての英国での法案に関するWMA理事會決議」

英国政府が、移民の扱いに関連してECtHR規則第39条に基づいて発効された差し止め暫定措置を、閣僚が無視できるようなにする法案を提案した。

WMAは、亡命希望者、移民、及び医療従事者に対する保護を取り除かれることになるとして、重大な懸念を表明している。

新委員長に、アイスランド医師会のステイヌン・トルダルドッティル会長が選出された。

また、ヘルシンキ宣言改訂作業部会議長より、アジア、ラテンアメリカに引き続き地域会議を開催し、議論していくとの報告があった。

「ウガンダにおける反LGBTQ法に関するWMA理事會決議」

ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

ウガンダ大統領に対して、同性愛行為者を死刑とする「反同性愛法案」に拒否権を行使して、法制化を阻止すること、構成メンバーに対し、同

## 日医総研だより 財源確保とポリファーマシー

医療の高度化、物価高騰、人件費上昇など医療費の増大が、医療の持続可能性を脅かしています。今回は医療費の効率化の一環として「ポリファーマシー問題」を取り上げてみたいと思います。

他院から紹介を受けた外来と入院の高齢者の薬剤処方を見ても、外用薬も含めて5剤以上の処方を受けている方がかなりの率でおられます。むしろ、高齢化に伴い多剤併用療法が必要な患者がいることは確かですが、薬剤の処方の理由がはっきりしない場合もあります。

例えば、「不眠がない高齢患者に睡眠導入剤の処方」「上部消化管症状が全くないにもかかわらず、長期のPPIの処方」「総コレステロール・中性脂肪共に低いにもかかわらず、スタチン剤の長期処方」「血圧が低いにもかかわらず、複数の降圧剤の処方」「痛みが治癒しているのにNSAIDsの処方継続」など、多くの処方例が見受けられます。

多剤併用処方かどうかを判断する際の参考として、複数の医療機関に通院しておられる方が、複数の処方を受け取っている場合、「急変時に入院して、そこで処方薬が増え、退院後もその処方が増え続けている場合」「40〜50歳代に始まった処方が高齢になってからも継続されている場合」「入院中の4人部屋で不眠があり睡眠薬が処方されているが、自宅退院後も継続されている場合」など、多数の理由があります。

東京大学医学部附属病院の報告においても、5剤以上で転倒リスク増、6剤以上で薬剤関連有害事象の増加が報告されています (小島太郎、2012)。

75歳以上の方は約1800万人、65〜74歳は約1830万人です。仮に治療に支障が出ないとい

う条件の下で、75歳以上の20%、65〜74歳の10%の高齢者の1日当たり100円分の処方薬を減らすことができれば、年間で約2000億円の医療費の削減効果になります。調剤薬局の調剤料なども含めると、削減効果は2200億円程度になるでしょう。

この薬剤費削減部分を (日医総研副所長 原 祐一)

### ご協力をお願い

日本医師会では、ホームページや公式YouTubeチャンネルをより多くの国民の皆さんにご覧頂くため、会員の先生方に自院のホームページにリンクを貼って頂くことをお願いしています (都道府県医師会宛て文書: 日医発第1909号)。

日本医師会ホームページの「メンバーズルーム」内「医師会活動について」には、リンクを貼って頂く際に使用可能な右記のようなバナーデータを掲載していますので、ご活用願います。



# 「健康スポーツ医学実践ガイド：多職種連携のすゝめ」刊行記念

## 健康スポーツ医と運動指導者の多職種連携推進講演会を開催



導士会などの関係団体と一層連携を強化していく姿勢を示した。

続いてあいさつした青地克頼日本健康運動指導士会長は、「多職種連携の一員として、認定健康スポーツ医を始めとした医師の先生方と連携させて頂くことは、運動指導者が一次予防の側面から機能できる大変意義のあること」とし、運動指導の効果を発揮するために欠かせない運動の習慣化において、運動指導者の日頃の経験から培われたエビデンスが役に立つと述べた。

講演では、まず長島常任理事が、「健康スポーツに関する日本医師会の取組み」について、運動・スポーツ関連資源マップについて、運動関連施設や医療機関の場所、機能などを地図上に示して「見える化」するものであるとし、作成によって地域の多職種連携を推進していくことを要請。今後、日本医師会としても、健康スポーツ医と関係者との協力体制の構築に向けて、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指

導士会などの関係団体と一層連携を強化していく姿勢を示した。

続いてあいさつした青地克頼日本健康運動指導士会長は、「多職種連携の一員として、認定健康スポーツ医を始めとした医師の先生方と連携させて頂くことは、運動指導者が一次予防の側面から機能できる大変意義のあること」とし、運動指導の効果を発揮するために欠かせない運動の習慣化において、運動指導者の日頃の経験から培われたエビデンスが役に立つと述べた。

講演では、まず長島常任理事が、「健康スポーツに関する日本医師会の取組み」について、運動・スポーツ関連資源マップについて、運動関連施設や医療機関の場所、機能などを地図上に示して「見える化」するものであるとし、作成によって地域の多職種連携を推進していくことを要請。今後、日本医師会としても、健康スポーツ医と関係者との協力体制の構築に向けて、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指

導士会などの関係団体と一層連携を強化していく姿勢を示した。

続いてあいさつした青地克頼日本健康運動指導士会長は、「多職種連携の一員として、認定健康スポーツ医を始めとした医師の先生方と連携させて頂くことは、運動指導者が一次予防の側面から機能できる大変意義のあること」とし、運動指導の効果を発揮するために欠かせない運動の習慣化において、運動指導者の日頃の経験から培われたエビデンスが役に立つと述べた。

講演では、まず長島常任理事が、「健康スポーツに関する日本医師会の取組み」について、運動・スポーツ関連資源マップについて、運動関連施設や医療機関の場所、機能などを地図上に示して「見える化」するものであるとし、作成によって地域の多職種連携を推進していくことを要請。今後、日本医師会としても、健康スポーツ医と関係者との協力体制の構築に向けて、健康・体力づくり事業財団、日本健康運動指

### 第7回 生命を見つめる フォト&エッセー

作品募集中

応募締切 **2023年10月4日** 必着

フォト部門 エッセー部門

日本医師会では、患者さんとの思い出や、ご自身あるいはご家族の闘病経験、介護や生命の誕生にまつわるエッセー、あるいは生命の輝く瞬間を捉えた写真を募集しています。ぜひ、ご応募下さい。 [詳細はこちら](#) [生命を見つめるフォト&エッセー](#) 検索

差し上げます **第6回「生命を見つめるフォト&エッセー」入賞作品集**

第6回「生命を見つめるフォト&エッセー」（主催：日本医師会／読売新聞社、後援：厚生労働省、文部科学省）の入賞作品集が、このほど完成しました。

『日医雑誌』5月号と共に送付済みですが、更にご希望の方は切手140円分を同封の上、下記に申し込み願います（2部以上の希望者は要連絡）。

申し込み・問い合わせ先  
日本医師会広報課  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
☎ 03-3942-6483（直）

長島常任理事は、独居世帯が増えていることなどから、運動スポーツに関する地域包括ケアシステムを生かして「地域」で支えることが重要だとし、かかりつけ医を窓口として活用するよう強調。かかりつけ医には、地域の運動施設、運動指導者、自治体の取り組みを把握してネットワークの要として活躍することが期待されるとし、地域医師会の支援の重要性にも言及した。

同委員長は、自身の経験を踏まえ、日常診療の中で運動の必要性を伝え、実践状況の把握や、運動における実際の指導ができないもどかしさがあることを指摘。患者が運動の場に行った際に地域で支える環境づくりが肝要であるとして、運動指導者につなぐ重要性を強調した。

一方、患者側には、病気が分かる運動施設では受け入れられない恐れがあるのでは、自身の健康状態を隠して運動をしているケースも見受けられるとし、「加齢に伴う内科系疾患と整形外科系疾患を併せもつ高リスク層であったとしても、マイナスイメージを回避した運動を提示することはできる」とした。

また、運動を始めたきっかけについては、テレビや会社からの勧めよりも、医師からの勧めが明らかに多いとして、「運動に関連のない人にも健康や日常診療で接する機会のある医師が、背中を押す役割を担っていくべきである」と述べた。

なお、当日予定されていた下光輝一健康・体力づくり事業財団理事長による講演は、ご自身の体調不良のため急きょ中止された。

健康スポーツ医学実践ガイドの目的

引き続き、日本医師会運動・健康スポーツ医学委員会の津下一代委員長

「健康スポーツ医と運動指導者の多職種連携推進講演会」が4月16日、日本医師会館大講堂で開催された。

本講演会は、日本医師会の運動・健康スポーツ医学委員会が昨年6月に『健康スポーツ医学実践ガイド：多職種連携のすゝめ』を刊行したことを記念して開かれたものである。

冒頭のあいさつで松本吉郎会長（長島公之常任理事代読）は、人生100

# 令和5年度都道府県医師会広報担当理事連絡協議会

## 国民から信頼される医師会のイメージづくりと

### 正確で迅速な情報発信を目指して



に対する意見を求めるとともに、国民から信頼される医師会のイメージづくりと会員に向けた正確で迅速な情報発信に努めていく意向を示した。

続いてあいさつした小沼一郎日本医師会広報委員会委員長／栃木県医師会副会長は、現在、日本医師会広報委員会において、医師会の組織強化に向けた広報支援について検討していることを明らかにし、本協議会での意見を参考にしたいとした。

当日の議事は、(1)日本医師会の広報活動について、(2)講演「医師会のイメージアップのヒント」、(3)都道府県医師会の取り組み発表(大阪府医師会、広島県医師会)、(4)質疑応答—であった。

(1)では、黒瀬常任理事が、「直近の主な広報活動」「今後の広報活動の課題」について説明し、「日本医師会を知ってもらおう」「日本医師会のイメージアップを図る」という二つの観点で

黒瀬常任理事の司会により開会。冒頭、ビデオメッセージであいさつした松本吉郎会長は、日本医師会の活動を理解頂くことや組織強化を図るためにも、広報の役割が更に重要になるとの認識を示した。また、都道府県医師会に対して、広報

具体的活動については、日本医師会公式YouTubeチャンネルでの、新型コロナウイルス対策の解説や国民向けシンポジウム・セミナーの動画等の掲載の他、LINEの活用、動画「日本医師会オンラインセミナー」「女性の健康課題を考える」「教えて、日医君、新型コロナはこも吸っちゃダメ」や冊子『禁煙は愛』等の各種啓発資料の提供等について紹介した。

また、動画「教えて、日医君、知って欲しい！日本医師会」は、国民向けと医学生・研修医向けの2種類を制作したとし、医師年金や医師賠償責任保険等を盛り込んだ医学生・研修医向け動画については、医師会の入会促進活動等での活用を求めた。

今後の課題に関しては、①組織強化に向けた広報の充実②都道府県(現場)の意見の収集力の強化③マスコミとの関係の維持・強化④適切な広報手段の選択—などを挙げ、「日本医師会広報サポーター(仮称)」の創設等にも触れ、都道府

県医師会への協力を求めた。(2)では、興津修喜株式会社電通パブリック・アカウンツ・センタ―社会創発室トランスフオーメーション・プロデュース部アカウントリード(F.A.シニア)(当時)が、大手通信会社のコマ―シャルを例にターゲットへのイメージの伝わり方とともに、各世代ごとに向けた広報に必要な要素「WHAT」「HOW」「WHEN」について解説。更に、SNSを活用した取り組み事例などを紹介した。

また、大阪府、広島県の両医師会から、それぞれ取り組み事例の発表が行われた。阪本栄大阪府医師会副会長は、「大阪府医ニユー」の他、ラジオ放送や市民向けの公開討論会、健康講座等の取り組みを紹介し、広報活動をより

岩崎泰政広島県医師会副会長は、「広島県医師会速報」「ホームページ」「ゆるキャラ『もみじ医』」の内容とともに、県民フォーラムや広島医家芸術展の開催等を紹介し、更に、広報活動をより

戦略的・効果的なものとするために、広島県、広島大学、地元テレビ局・新聞社、広告代理店など官・学・民で構成された「広報戦略室」を設置し、広報活動の評価やイメージアップの基本戦略の策定等の役割を担ってもらっているとし、戦略室の提言に基づいた具体的な活動として、テレビ・ラジオの出演や被爆伝承コーナー開設の他、県民の医療情報に関する意識調査の実施などを挙げ、その内容を報告した。

(4)では、会外向け広報時の留意点やコロナ禍での会員へのスピーディーな伝達手段としてのFAX・速報の効果に関する質問が寄せられた他、日本医師会に対して、信頼できるメディアの紹介や、コンテンツの提供及び広報活動への補助を求めるとともに、若手医師に対する入会促進の広報などについて要望があった。

その他、チャットAIの活用による影響や医師会の組織強化などについても意見交換を行った。総括した角田徹副会長は、「最も有効な広報とは何かを考えなければならぬことを強く感じました」と述べ、本協議会が貴重な情報共有の場となったことに謝意を示した。

また、都道府県医師会に対して、広報

## 国民向け動画「教えて！日医君！これからの新型コロナとの向き合い方」が完成



日本医師会ではこのほど、国民向け動画「教えて！日医君！これからの新型コロナとの向き合い方」を制作し、5月8日から日本医師会公式YouTubeチャンネルで公開を始めています。

本動画は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月8日から5類感染症になったことを受けて、制作したものです。その中では、日本医師会で感染症危機管理対策、予防接種を担当している釜范敏常任理事が、日本医師会の公式キャラクターである「日医君」の質問に答える形で、5月8日以降のワクチン接種やマスク着用が推奨される場面などについて分かりやすく解説している他、今後の感染状況について説明を行った4月26日の会見の様も盛り込んだものとなっています。ぜひ、ご覧下さい。

なお、本動画については、医療機関の待合室などでご活用頂くため、データ(MP4ファイル)を希望者に差し上げています。

ご希望の方は、(1)所属機関、(2)氏名、(3)電話番号、(4)使用目的—を明記の上、日本医師会広報課(kouhou@po.med.or.jp)まで、タイトルを「動画「これからの新型コロナとの向き合い方」希望」として、メールでお申し込み願います(頂いたメールアドレス宛に動画のダウンロードURLをお送りします)。

# 令和5年

## 春の叙勲・褒章受章者

### 神村常任理事が藍綬褒章を受章

政府は、この度、令和5年春の生存者叙勲・賜杯受章者並びに褒章受章者を発表しました。

日本医師会会員受章者は次のとおり。

（敬称略）

#### ◎瑞宝重光章

倉根一郎（宮城県・元国立感染症研究所長）

#### ◎旭日小綬章

伊藤 翼（佐賀大学名誉教授）

#### ◎瑞宝小綬章

井上 仁（福島県・元済生会福島総合病院院長）

#### ◎旭日双光章

赤司文廣（元長崎県医師会副会長）

#### ◎瑞宝双光章

木田光一（福島県・元いわき市医師会長）

#### ◎紫綬褒章

河野修典（広島大学名誉教授）

#### ◆藍綬褒章

神村裕子（山形県・日本医師会常任理事）

#### ◆お祝い◆

受章者名の掲載には細心の注意を払っておりますが、万一、お欠付きの点がありましたら、広報課までお知らせ下さい。



酒井國男（奈良県・元大阪府医師会長）

吉田憲史（熊本県・元日本メディカル給食協会会長）

赤上 晃（東京都・元八王子市医師会長）

明穂政裕（元鳥取県医師会常任理事）

足立光平（元兵庫県医師会副会長）

有任基彦（徳島県・元板野郡医師会長）

板橋隆三（元宮城県医師会副会長）

稲坂 博（元愛知県医師会理事）

嘉手刈勤（沖縄県・元南部地区医師会理事）

河合直樹（元岐阜県医師会副会長）

河村芳高（山口県・元厚狭町医師会長）

中山恵三（元愛媛県医師会常任理事）

原 敬三（元熊本県医師会理事）

檜谷義美（広島県・元松永沼隈地区医師会長）

深澤雅則（元北海道医師会副会長）

藤本 保（元大分県医師会副会長）

松本純一（元三重県医師会副会長）

水野幸一（千葉県・元千葉市医師会副会長）

村上壽治（元青森県医師会副会長）

渡邊康久（宮城県・元日向市東白根郡医師会長）

松原六郎（福井県・福井被書者支援センター理事）

小林文雄（福井県・元鯖江市医師会長）

小林米幸（神奈川県・元大和市医師会長）

近藤俊夫（埼玉県・元秩父郡市医師会長）

櫻井 洋（群馬県・元吾妻郡医師会長）

白山 究（三重県・元久居一志地区医師会理事）

杉田洋一（愛知県・元名古屋市医師会長）

高田篤行（岡山県・元真庭郡医師会長）

徳永宏司（元静岡県医師会副会長）

友永 轟（奈良県・元天理地区医師会長）

中條明夫（元山形県医師会副会長）

中山恵三（元愛媛県医師会常任理事）

原 敬三（元熊本県医師会理事）

檜谷義美（広島県・元松永沼隈地区医師会長）

深澤雅則（元北海道医師会副会長）

藤本 保（元大分県医師会副会長）

松本純一（元三重県医師会副会長）

水野幸一（千葉県・元千葉市医師会副会長）

村上壽治（元青森県医師会副会長）

渡邊康久（宮城県・元日向市東白根郡医師会長）

松原六郎（福井県・福井被書者支援センター理事）

横山鐵夫（長野県・学校医）

黒田 惇（富山県警察嘱託医）

阪口大和（元和歌山県警察嘱託医）

町田光司（青森県警察嘱託医）

河野修典（広島大学名誉教授）

神村裕子（山形県・日本医師会常任理事）

木下勝之（東京都・元日本産婦人科医会長）

宮川松剛（大阪府医師会理事）

## 日本医師会事務局を組織改編し、「健康医療第三課」を創設

日本医師会は4月25日に開催した令和5年度第3回常任理事会において、5月1日付で「健康医療第一課」の下に設置されていた「医師の働き方改革推進室」を廃止し、方改革推進室を廃止し、「健康医療第三課」を創設することを了承した。

### 全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

#### 確定年金制度について

基金加入中の皆様は、2024年度に控える中で、医療機関勤務環境評価センターホームページの閲覧者数が増えるなど、社会的関心も高まり、日本医師会としても、方改革推進室を廃止し、健康医療第三課を創設することとなる。このことにより、健康医療第三課の業務をより一貫して行われることとなる。

確定年金は、ご加入中の終身年金と異なり、年金の支給期間が確定している有期の年金で、二口目以降から加入することが可能です。

現在、年金の支給開始年齢と終了年齢に応じて複数のタイプが設定され、対象となるなど、優れた



税制上の優遇措置が適用されています。例えば、50歳以上（男女共通）で確定年金Ⅱ型（65歳～75歳支給）に一口（月額掛金4405円）ご加入の場合、課税所得2000万円のケースでは、新たに年間2万6430円（概算）が節税となります。

お問い合わせは基金事務局（011-20700650）まで。

### 生きてるんだぞ

10年程前から趣味でマラソンをやっています。コロナ禍で中止になっていた大会も徐々に再開されるようになって、目標ができてると俄然やる気が湧いてきます。



私のマラソンのモットーは「頑張らない。だけど諦めない。人と比べない」です。エリートランナーは別として、私らのレベルでは頑張るはいけません。人と比べないで、

マラソンのスタート地点では、持ちタイムがいい人から順に並んでいくので、私なんかは一番後ろになりま。ちょっとでもの悪いマラソンランナーくらいにしか思っていないま。人と比べないで、

（伯耆丸）

# 南から北から

## 令和4年度 表彰作品発表

本紙の「南から北から」のコーナーでは、都道府県医師会並びに郡市区等医師会の会報誌に収載されているエッセー等の中からユーモアあふれる作品を選び、掲載している。

このたび、会内の広報委員会において、令和4年度に掲載された45作品の中から最優秀作品を選考し、愛犬との散歩の最中に会った夫婦との温かいエピソードをつづった黒田兼先生の「犬とお散歩」(本紙第1464号掲載)、時代劇のエキストラのアルバイトを経験した1日の思い出をコミカルに描いた佐々木康成先生の「学生時代のアルバイトの思い出」(本紙第1471号掲載)の2作品が選ばれた。今号では、その作品を再掲する。

なお、2名の先生方には、広報担当の黒瀬巖常任理事名による表彰状を贈呈する。

新潟県  
新潟市医師会報  
第611号より

### 犬とお散歩

黒田 兼



タイトルを「犬のお散歩」にするか「犬とお散歩」にするか迷った。「犬のお散歩」ならばそれに続くのは「に付き合う」か……「犬とお散歩」だと「する」とかだなあ、とほんやり考える。

15歳という天寿を全うしたラブラドルレトリバーの後に飼ったのは、ゴールデンレトリバーだ。街を歩いていると「おっきな犬ですねえ。」

お散歩させるの大変で「よ？」と声を掛けられる。前の犬が亡くなってから、当然のように散歩が無くなった。手持ち無沙汰な感じがした。しばらくして新しい犬がやってきましたけれど、子犬の時期にはそれほど散歩は必要ない。だが、あつという間に30キロに迫っていく大型犬を持ち上げる機会が増え、腰痛に悩まされ「やばい、このウツの看板が目につくよ

うになった。おじさん一人で看板をキョロキョロ見て回るのは、お店の人や道行く人の目が気になってちょっと抵抗がある。しかし犬連れならばあーら不思議、「私、散歩中ですから」という言い訳が立つので、抵抗感は無くなりじっくり看板のメニューが読める。お店の方が大好きならば更にラッキー。最近では白山神社近くでできた豚汁屋さんの前でメニューを見ていたら、「わー、可愛い犬ですね」とお店の方が出てきた。犬の話をしつとお店のお薦めを詳しく聞くことができた。

犬と一緒になければ声を交わすことはないであろう人達との出会いもある。印象に残っているのは50代くらいのご夫婦だ。夜、人通りも少ない交差点で、先代犬のラブラドルはお座りして信号待ちをしていた。触っ

ていいですかと近付いてこれ、「お名前は？」などと話していた。奥さんが突然涙ぐみ「この前うちのラブラドルが亡くなっちゃったの」とお座りしたままの犬をギュッと抱きしめたのだ。予想外の展開にうろたえる私。ご主人が慌てて「ご迷惑になるから……」と諫めたが、奥さんは犬を抱きしめたまま泣いている。その時の犬の様子はどうかと、「えっ、この場合このままじ

つとしての方が良いですよね？」と言っているかのように、ちょっと困った表情で私の方を見ながら、静かにお座りを続けていた。長く感じたが、2分間くらいだったろうか、奥さんは少し落ち着いたから離れた。「ずっと元気でね」と犬をなでてから、名残惜しそうに去って行った。その後姿を見送りながら、ペットとの別れはそんなにつらいのかと、ちょっとした衝撃を感じていた。そしてわが犬に「おまえ、

なかなかやるね」と声を掛けてやると、こちらを見上げながら、得意げに尻尾を立てた。

犬と散歩すると、一人なら行かない、あるいは行けない場所へ行ってみたり、いろいろな人との出会いがあったり、世界が広がっていく気がする。今日も犬と一緒に歩

きなながら、お散歩させているのではなく、実は犬にお散歩させてもらっているのでは？と気付くのである。

(一部省略)

滋賀県  
滋賀市医師会報  
第891号より

### 学生時代のアルバイトの思い出

佐々木康成



娘の英語の個別指導を担当している大学生と話す機会があった。他に下宿近くのスーパーの鮮魚店でもアルバイトをしているそう。その日に完売できなかった分はおこぼれにあずかるらしい。

良い新鮮な魚が手に入るの、下宿先に友達を呼んで、その日の魚を用いて鮮魚店で教わるまかないを作って楽しんでいるとのことであった。

自分が学生であった頃を振り返ると、京都府立医科大学ではあまりアルバイトの経験が無く、京都大学の近くに京都学生相談所という無料のアルバイト紹介所があり、足繁く通い、壁いっぱい張りつめてあるさまざま

なかなかやるね」と声を掛けてやると、こちらを見上げながら、得意げに尻尾を立てた。

犬と散歩すると、一人なら行かない、あるいは行けない場所へ行ってみたり、いろいろな人との出会いがあったり、世界が広がっていく気がする。今日も犬と一緒に歩

きなながら、お散歩させているのではなく、実は犬にお散歩させてもらっているのでは？と気付くのである。

(一部省略)

まなアルバイトの中で、京都ならではの面白そうなのを採っていた。

今でも印象に残っているのが、「ドラマ」のエキストラであった。当時2時間ものサスペンスがたくさん放映されていた。北山辺りが舞台のドラマのエキストラで、2回生の夏頃であった。

当日は朝8時に大森の東映撮影所に集合した。集合場所に行くとき、左と進む方向が割り振られ、言われるがままに進むと時代劇の撮影控室であった。「現代ドラマ」のエキストラで応募しており、「聞いてないよお」であったが、スタッフから「ここで着替えて」と言われ、衣装係の人に忍

者の装束を着せられ頭巾もかぶった。

控室中央の鏡の前に西村晃の水戸の御老公と、助さんと格さんがスタンバイしていた。水戸黄門に出るのかと思ったが、すぐにエキストラ集合と言われ、集合すると他に10人程度ずつお侍と忍者がいた。渡された弁当とお茶だけ持って、「荷物はこちらに置いていく。財布も要らんで」と言われるがまま荷物を控室に置き、マイクロバスに乗せられて1時間、どこかの山中に連れていかれた。

「忍者はここで待機」と言われ、撮影現場からは少し離れた所で待機となった。全く撮影の状況は分からなかった。待つこと4時間。「忍者のエキストラ来て」と言われ、われわれがカメラの前

に。監督らしき人(舛田利雄監督)から「腰の刀を抜いて振ってみ」と言われ振ってみたら、「君ら下手くそやな」と言われ撃沈。一つめの撮影シーン、殿様(役:神田正輝)を道中で襲うので、逃げられないよう馬と忍者が囲む、刀は持つだけの撮影となった。言われるがままに動いた。

次のシーン。(殿様が殺されたと同時に)大木に雷が落ちるシーン。「君、ここで死んでいて」と大木の横で死体となった。「落雷の大きい音するけど、カットて言うまで絶対動いたらあかんよ。動いたら何回でも撮り直し」。これ、エキストラにさせるか？と内心思いながら本番。思ったより大きい落雷の音。自分では多分動いてないはず。でもいつまで経ってもカットの音が聞こえない。砂利を踏む音が近付いている、何、何、なんかやらかしてしまたか？と不安に駆られたが「おい、もうええで。生きてるか？」。えっ、もう終わってたん？ 落雷の音が大きすぎて直後のカットが聞こえていなかったことが後で分かった。

エキストラはこの2シーンのみ。エキストラの撮影は10分程度、その後も待機で結局17時頃に山を出た。日当10000円と延長分で2、3000円追加して当日支給された。

帰る際に時代劇映画の撮影であったことが分かり、後日上映され見に行った。撮影シーンは映画前半の最大の山場であったことが分かったが、自分の登場シーンは5秒も無く、落雷した大木のそばで「死んでいる」自分も一瞬しか映っていない。1日掛けて撮影した自分は10分程度に編集されていた。

今となってはあり得ないことが多々あった、懐かしい思い出である。

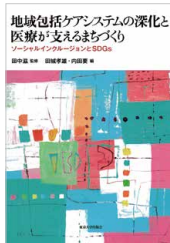
(一部省略)

# 書籍紹介



地域包括ケアシステムの深化と医療が支えるまちづくり  
ソーシャルインクルージョンJSDGs

田中 滋 監修  
田城孝雄 編  
内田 要



本書は3部合計17章からなる。「第一部 医療政策とS

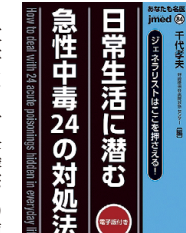
DGs」では、今、社会で取り組まれているSDGsに、医療政策とまちづくりがどのように関係するかが示されている。

また、「第二部 医療が支えるまちづくり」では、各地で先進的な試みを実践している医療法人・総合福祉施設の事例を紹介。「第三部 行政との協働の取り組み」では、自治体が医療法人等と協働して展開している医療介護政策の活用が、コミュニティの維持に役立つことを示している。

各章は、地域包括ケアシステムを始め医療介護政策を専門とする研究者、SDGsを意識した不動産事業を熟知する専門家、医療経営者、自治体で保健福祉行政に携わる職員等が執筆している。

まちづくりに医療がどのように関わり、それが社会的包摂とSDGs推進にどうつながるのか、本書には豊富な事例が盛り込まれており、これらの地域医療政策や医療経営と介護経営、自治体運営を考える上で、必須の資料と言える。定価 4180円(税込) 発行 東京大学出版会

ジェネラリストはここを押さえる！  
日常生活に潜む急性中毒24の対処法  
千代孝夫 編著

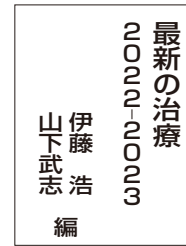


本書は日常診療での遭遇頻度が高い、24の物質による急性中毒の対処法をエキスパートが説明した解説書である。各起因物質のページでは、「治療法」や「べきこと」や「過去の常識、いこと」「過去の常識、

今の非常識」「専門医へ送る基準」等の共通項目が設定され、厳選された中毒診療の最新情報がまとめられている。例えば、近年、社会問題化しているOTC薬濫用によるコバイン等の中毒や、新型コロナウイルス感染症流行により急増している次亜塩素酸による中毒、新型たばこ誤飲などについて解説している他、非定型抗精神病薬・三環系四環系抗うつ薬の中毒では、過去に推奨されてきた催吐が現在は禁忌であることを指摘している。

中毒診療は系統的な教育体系がないために苦手にしている。本書は2年ごとに改訂される解説書であり、年々進歩する循環器疾患における治療指針と最新

意識を持つ医師も多いが、本書はジェネラリストにとって重要な初診時の「ask」と「no not」がコンパクトに整理され



「心不全治療薬」や「ACEI」と「心不全患者へのACCPと緩和医療」超高齢者の心房細動はどうするか？「大きく変わる2型糖尿病治療」「心不全患者の遠隔モニタリング」「循環器内科医師の働き方改革」循環器疾患におけるiPS細胞の将来展望など、最近話題となっている疾患や病態、

ており、急性中毒初期診療の現場で非常に有用性の高い一冊である。定価 3850円(税込) 発行 日本医事新報社

巻頭トピックスでは、「心不全治療薬」や「ACEI」と「心不全患者へのACCPと緩和医療」超高齢者の心房細動はどうするか？「大きく変わる2型糖尿病治療」「心不全患者の遠隔モニタリング」「循環器内科医師の働き方改革」循環器疾患におけるiPS細胞の将来展望など、最近話題となっている疾患や病態、

治療法など、12テーマが取り上げられている。また、第一章では「循環器診療の現在・医療倫理からの展望」として、緩和医療・医療資源の問題などが新たに触れられるなど、極めて興味深い内容となっている。

更に巻末には付録として、日々の臨床に役立つ「循環器疾患の薬剤一覧表」が掲載されるなど、循環器疾患に携わる医師、研修医が、最新の治療知識をアップデートするために不可欠なことのできない一冊となっている。定価 11000円(税込) 発行 南江堂

## 「日医君」「吉郎君」LINEスタンプ販売のお知らせ

日本医師会をより身近に感じてもらうため、日本医師会のキャラクターである「日医君」と松本吉郎会長をモチーフとした「吉郎君」のLINEスタンプ(40種類)をこのほど制作し、6月8日(木)午前10時頃から、120円(50コイン)で販売することになりました。



ぜひ、この機会にスタンプをご活用頂ければ幸いです〔以前発売したアニメーションスタンプ〔24種類、250円(100コイン)〕も引き続き販売しておりますので併せてご利用下さい〕。

なお、日本医師会では、日本医師会LINE公式アカウントも開設していますので、ぜひ、友だち登録をお願いします。登録者には、日本医師会から健康管理に役立つ情報やイベントなどの情報を提供しています。

友だち追加はこちらから



## 特別展「古代メキシコ—マヤ、アステカ、テオティワカン」の鑑賞チケットプレゼントのお知らせ

東京国立博物館平成館で行われる特別展「古代メキシコ—マヤ、アステカ、テオティワカン」(主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社)の鑑賞チケットを50組100名の方にプレゼントします。

本展ではマヤ、アステカ、テオティワカンという代表的な3つの文明に焦点を当て、メキシコ国内の主要博物館から厳選した古代メキシコの至宝の数々が、近年の発掘成果を交えながら展示されています〔詳細は展覧会公式サイト(https://mexico2023.exhibit.jp/)をご参照願います〕。

普遍的な神と自然への祈り、そして多様な環境から生み出された独自の世界観と造形美を通して、古代メキシコの奥深さと魅力をぜひ、ご堪能下さい。

会期:2023年6月16日(金)~9月3日(日)

会場:東京国立博物館 平成館

開館時間:9時30分~17時(入館は閉館の30分前まで)

※土曜日は19:00まで

※6/30(金)~7/2(日)、7/7(金)~9(日)は20:00まで(総合文化展は17:00まで)

休館日:月曜日、7月18日(火)

ただし、7月17日(月・祝)、8月14日(月)は開館

申込方法:希望者は、①郵便番号②住所③氏名④電話番号——を明記の上、件名を「メキシコ特別展鑑賞チケット希望」として、メールでお申し込み願います。厳正な抽選の上、当選者を決定いたします。当選発表はチケットの発送をもって代えさせていただきます。なお、複数回の申し込みは無効になりますので、ご注意願います。

申込締切:2023年6月20日(火)

申込先:日本医師会広報課 〓 kouhou@po.med.or.jp